

ellipse

[エリプス]

TOPICS

德音堂物語 4

新しくなった德音堂のご紹介

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワタシ

深津知寿 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上で「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。

特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT

「女性とアルコール
～楽しく飲んでよい関係」 in 德音堂
廣池英子 ジャズコンサート
科学史散歩4 ～大塚 楠緒子～

INFORMATION

お茶の水女子大学 イベント情報
事務局よりお知らせ

保険に不安や疑問をお持ちの方、 お気軽にご相談下さい。

誠実に、客観的に診断致します。(無料)
☆長年の経験と頭脳を使ってコンサルティングします。

ハイハイナーニ
【フリーダイヤル 0120-818172】

東京海上日動火災保険・東京海上日動あんしん生命 代理店

セイワインシュアランス

※お茶大卒業生がやっている代理店です

〒330-0802 さいたま市大宮区宮町4-16 セイワアネックス2F

Tel 048-649-5761 Fax 048-641-0596

e-mail:seiwa0019@coral.ocn.ne.jp

URL:http://www.tmn-agent.com/seiwa/

青島 朋子 (S53地)・渡邊 英子 (S27体)

小暮 瑞枝 (S43児)・石井 佳代 (S54食)

女性14人の保険コンサルティング会社です。

酒井興子税理士事務所

<http://www.sakai-ao.jp> 卒業年度 昭和37年

税務
会計指導

相続
不動産

経営相談
法人設立

NPO法人
会計・税務



川崎中原区丸子通2-682
ジャルダンプラザ101

Tel. 044-711-2275
Fax.044-711-2040

業務内容

個人・法人の税務申告など税務一般、会計業務および指導
経営相談、法人設立の相談と税務手続き
相続、不動産譲渡などの相談・申告
NPO法人の会計と税務申告



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分

都バス
大塚2丁目バス停すぐ

超芳醇
好評発売中

ヤマザキ



耳までソフトで、ほんのり甘い。超芳醇

STO 齊藤翻訳事務所

SAITO TRANSLATION OFFICE

代表: 齊藤 潤

技術翻訳全般承ります!

コンピュータソフト、コンピュータハード、電気、
電子、機械などの技術翻訳(英日、日英)は、実績の
あるSTO齊藤翻訳事務所におまかせ下さい。

コンピュータソフト コンピュータハード 機械
電気 電子 半導体
自動車 プラント

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-17ディアナコート恵比寿1206号
TEL 03-3446-1155 FAX 03-3446-1156 jun-saito@mve.biglobe.ne.jp
◆業務実績など詳細はホームページで <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~sto/>

翻訳者募集

業務内容の拡大にともない、優秀な翻訳者または下訳者を募集して
います。TRADOS経験者も募集中です。履歴書をE-Mailにて上記アドレ
スへお送り下さい。

編集 後記

今冬は、記録的な豪雪と寒さが全国を包み込んでいます。厚手コートや
暖房器具が大変な売れ行きとか、暖かさに体がほっとしますよね。そし
て、ちょっとした優しさが心にしみみます。今年も優しい心を持ちあって、温
かな心で過ごせますように。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか?次号は5月発行です。約2,000部発行。
広告料金は20,000円/回、会員の皆様をはじめ全国の公共機関などに送付
します。その他、ブックレットの広告も募集しておりますので、詳しくは事務局
へお問合せください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の
宛名ラベルに印字してあります。

き いん どう
徽音堂物語 4

新しくなった徽音堂のご紹介



徽音堂物語第4回は、新しくなった徽音堂をご紹介します。
お茶の水女子大学の象徴でもある、徽音堂を含む生活科学部本館の改修工事が続いています。
第1期が終わり、現在は、第2期工事が行われています。また、皆様からの暖かいご支援のおかげで、主に講堂内部の冷暖房などの改修工事も終了しました。

昔の姿をそのままに美しく再生

生活科学部本館はお茶の水女子大学の中でも特に古い建物で、竣工当時はすべての学科の授業が行われていました。しだいに大学が大きくなり、建物が増えていきましたが、凛とした佇まいは変わらず、過去と現在、そして未来をつなぐ役割を担っています。

改修工事では、専門家の調査をもとに、保存部分と改修部分などを決めていきました。そして、古きを尊重しつつも、新しく快適な施設としての側面も追求した改修案ができ上がり、工事

が進められています。ちまたを賑わせている耐震構造もしっかり計算されています。植栽についても生物学科の先生の意見が取り入れられています。

調査により歴史的に貴重と判断された部分は、保存部分に指定されています。徽音堂講堂内部、正面玄関、玄関ホール、1階大会議室、大学会議室(元の貴賓室)、応接室、2階共通講義室、屋上気象観測室、外壁タイルなどです。

竣工当時の姿と改修前の姿、そして改修後の写真をご紹介します。昔を懐かしみつつ新しくなった姿をご覧ください。

正面外観 正面上のレリーフ(ぶどうの房と葉、つるで飾られている)、車寄せがあるスロープは、洗浄し既存のままとした。外壁スクラッチタイルは、損傷部分については既存タイルの色・模様を復元した。



▲昭和7年竣工当時



▲改修前のレリーフ



▲現在の正面玄関

【訂正とお詫び】 前号(エリプス8号)において、誤った記載がありましたことを深くお詫び申し上げます。訂正箇所は次の2点です。
2ページ右の中ほど(誤)下浦純一校長 → (正)下村寿一校長 2ページ右の下から5行目 (誤)天皇、皇后の写真は → (正)天皇、皇后の肖像画は

徽音堂内部 皆様からの寄付により、冷暖房を完備した。暖房機器は見えないように取り付け、美しい内部空間とした。



▲竣工当時の徽音堂内部



▲現在の徽音堂内部



▲竣工当時の中庭



▲現在の中庭

中庭 竣工時は芝生が張られ、学生が集う場所であったが、その後いろいろな植物が植えられ雑然とし、人の通りがなくなっていた。改修後は、身障者用のスロープをつけ、大学の案内を掲示する掲示板とベンチを設置し、竣工時のように、学生の集う場所を目指した。その結果、人の流れが戻り、明るい空間となり有効活用されるようになった。

屋上 竣工当時に活用され、その後ぼろぼろになっていた気象観測室の外観を復元。
(写真左) 竣工当時の気象観測室
(写真中) 改修前の気象観測室
(写真右) 改修後の屋上



厳かな表情をたたえる大学会議室(旧貴賓室)
皇室はじめ要人の応接のために利用されていた大学会議室は、重厚な雰囲気を残すように改修された。

大学会議室 絨毯は既存の色・柄を復元し作成、漆喰塗りの天井、腰羽目板、真鍮ブロンズ製腰化粧欄間など貴重なものは保存し、空調機は、腰化粧欄間に設置し、直接見えないよう意匠上配慮した。



▲改修後の大学会議室



▲竣工当時の大学会議室(旧貴賓室)



▲改修前の腰化粧欄間(真鍮ブロンズ製)

在学生から
【高橋秀子(文教育学部言語文科学科 日本語・日本文学コース2年)】
2005年9月13日、夏休みの集中講義のために大学へ来ていた私は、思いがけず、徽音堂の空調設備披露式典に出席することができました。
女高師時代の方が沢山いらっしやり、バルコニーの下には空調が取り付けられているこの時の徽音堂を、旧と新の融合した空間であるように感じました。徽音堂が時代と共に新しく姿を変えていけばいくほど、昔からのお茶大の教えの一つ「徽音」にいつも耳を傾けていること」が、より深く私の心に刻まれていきます。

【施設課から】 第3期工事として、大学講堂(徽音堂)の改修工事を平成18年5月～9月末の予定で行います。工事中、工事騒音などご迷惑をおかけいたしますが、ご協力お願いいたします。

「女性とアルコール ～楽しく飲んでよい関係」in 徽音祭

2005年11月13日(日)、秋晴れのもとセミナー「女性とアルコール」が開催されました。この活動は平成17年度アサヒビール未成年者飲酒予防基金より助成を受けて行われました。
(会場:お茶の水女子大学共通講義棟1号館303号室 参加者:120名の(パッチテストのみの参加者も含む))

教室は立ち見も出るほどの盛況振りでした。予想よりも男性の参加者が多く、男女の比率はほぼ半々でした。セミナーは、金髪のアフロヘアーをかぶった通称「ビール博士」の村田容常先生(お茶の水女子大学生活科学部食物栄養学科)による「楽しく飲みニケーション～お酒と酔いの話」から始まりました【写真1】。大正11年に「未成年者飲酒禁止法」が公布され、20歳以下と知りながらお酒を飲ませた人に罰則がくだることや、アルコールと酔いの関係、アルコールの代謝メカニズム、女性とアルコールについてなどの話がありました。

次に、全員が〇×で答えるクイズ【写真2】。「ビール缶に点字があるか」など8問が出題されました。「お酒は燃えるか」というクイズでは、森義仁先生(お茶の水女子大学理学部化学科)による実験【写真3】があり、大いに会場が沸きました。17%、28%、37%、45%のアルコール溶液、43%のウィスキー、96%の世界一アル



▲写真1 アフロな村田先生



▲お酒博士によるFASの説明



▲写真2 〇×クイズ

コール度数の高いお酒「スピリタス:ポーランド原産のウォッカ」が用意され、実際に燃やしてみました。さて、読者の皆さん、どれが燃えたでしょうか?(答えはページ下) とても楽しいお話&実験は好評で、「お茶の水女子大学にはユニークな先生がたくさんいるんですね。是非講義を受けてみたいです」という感想がありました。このセミナーでは、特に女性にまつわるアルコール問題に焦点をあてましたが、男性にも知ってもらいたいことなので、男女同数ほどの参加者に、それらの問題について認識を深めていただけたなら幸いです。

特に伝えたかったことを2点記しておきます。「FAS(胎児性アルコール症候群)」をご存知ですか?この影響を(ス



▲写真3 森先生

受けた子どもは、(1)特徴的な顔貌(不明瞭な人中/薄い上唇/短い眼瞼裂など)があり、(2)発育の遅れや(3)中枢神経の問題(刺激への過反応・注意力の問題・変化への適応困難・学習障害・判断力の問題など、行動障害として現れる)を抱えています。妊娠中にアルコールを飲むと、胎盤を通じてアルコールが胎児の血液に流れ込み、アルコールの代謝能力が未発達な胎児は母体よりもさらに影響を受け、深刻な障害につながる場合もあります。先天性の障害と違い、これは100%予防できます。妊娠中、授乳中そして、妊娠を考えている女性はアルコールをとらないようにしましょう。妊娠がわかるまで少し期間があるので、その間も注意が必要です。女性が自分自身で気をつけることはもちろん、男性も大切な人のために正しい知識をもちましょう。

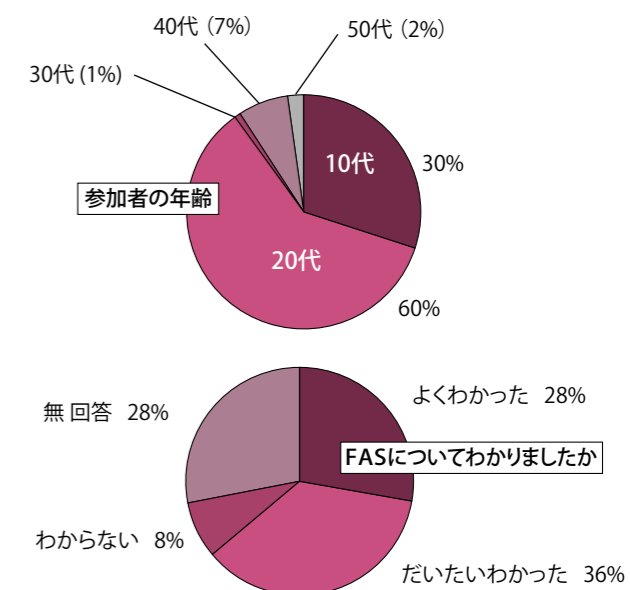


▲司会のお茶の水女子大学化学科4年生

「アルハラ」。これはアルコール・ハラスメントの略称で、飲酒にまつわる人権侵害です。アルハラには、1. 飲酒の強要(はやしたたり罰ゲームなど心理的な圧力をかけて飲まなければならない状況をつくること) 2. イッキ飲ませ 3. 意図的な酔いつぶし(酔いつぶすことを意図して飲み会を行なうことで傷害行為にもあたる。吐くための袋やバケツ、「つぶれ部屋」を用意していることもある) 4. 飲めない人への配慮を欠くこと(本人の体質や意向を無視して飲酒をすすめたり、宴会に酒類以外の飲み物を用意しない、飲めないことをからかったり侮辱する) 5. 酔ったうえでの迷惑行為(酔ってからむこと、悪ふざけ、暴言・暴力、セクハラ、その他のひんしゆく行為)があります。これらの行為は命を奪うこともあるので、十分注意しましょう。

【当日のアンケートより:感想を抜粋】

- ・飲酒禁止法について、飲酒した未成年が罰せられないということに驚いた。
- ・パッチテストがおもしろかった。よかった。
- ・お酒についての知識が整理できた。
- ・パッチテストは是非、在学生にもやってほしい。
- ・アルコールが体質に合わないことがわかってとても良かった。
- ・働いていると飲み会も多いので、今後は気をつけたいと思った。
- ・‘女性とアルコール’というテーマがまさに時流に合っていると思った。
- ・教授におもしろい人がいるなあと思った。話し方に人をひきつけるものがあり講義を受けてみたいと思った。
- ・日本人は酒に飲まれているので、飲酒に関して、罰則等をもっと強化した方がよいと思う。



廣池英子 ジャズ・カルテット ライブコンサート

2005年11月13日(日)15:00~17:00 お茶の水女子大学 学生会館ホールにて



廣池英子ジャズカルテットの皆さんの魔法です。メンバーは、ピアノおよび作曲の廣池英子さん、ベースの藍澤エイジさん、ドラムの小山太郎さん、そしてサクスの緑川英徳さん——皆さんプロとして活躍中の方々です。そして廣池さんはご存じの通り、本学の卒業生(理学部物理学科卒)です。大学での研究生活に一区切りをつけられた後、若い頃からの夢であったジャズピアニストとしての活動を始められました。1997年から次々とオリジナルのアルバムを出されています。

学生会館ホールは、ご年配の方々が多数詰め掛けられ、中にはご夫妻でいらっしゃる方もお見かけしました。若々しい雰囲気のある学生会館の外とは違ってお行儀よく落ち着いたムードでしたが、だんだん曲が進んでいくと盛り上がりつつあるのがわかります。徽音祭にこうしたご年配の方々が集う場所や

機会が必要なのだな、皆さん本当に楽しんでいらっしゃる、と思いました。また、ジャズというのは、聴衆と一体になって作り上げる“一回性”の音楽であるということも強く感じました。皆さん最後はノリノリでしたから。

(お世話係・お茶の水女子大学文教育学部 高崎みどり先生)



▲左からピアノの廣池英子さん、サクスの緑川英徳さん、ベースの藍澤エイジさん、ドラムの小山太郎さん

(クイズの答え:37%、45%のアルコール溶液とスピリタス)

cha cha cha 茶・茶・茶 お茶大再発見!

科学史散歩4 ~才能あふれる明治の女流作家 大塚楠緒子

お茶大から徒歩でいける距離に雑司ヶ谷霊園があり、著名な科学者や文学者やお茶大の卒業生の墓があります。今回は、そこに眠っている大塚楠緒子(おおつか くすおこ)についてご紹介します。

彼女は女子高等師範学校附属女学校の卒業生です。明治8年、東京麹町に富裕な裁判官の長女に生まれ、少女期から短歌、美文を発表。短歌は佐佐木信綱から、小説は夏目漱石から、絵は橋本雅邦からと当代一流の師に指導を受けた才能あふれる女性でした。

明治28年に保治と結婚、与謝野晶子の「君死にたまふことなかれ」と並称される厭戦詩「お百度詣で」を明治38年に発表、小説では『晴小袖』や明治41年から『空薫(そ

らだき)』を東京朝日新聞に連載しました。しかし、病気のために35歳で急逝、早すぎる死を悼み、漱石は二句の追悼句を残しています。「棺には菊抛(な)げ入れよ有らん程」「有程の菊抛(な)げ入れよ棺の中」これらの句から、いかに漱石が楠緒子を可愛がっていたか、推し量れます。

平和な世界を求め続けた彼女の思いを私たちも受けつぎ、雑司ヶ谷霊園までお散歩してみたいか、どうですか?お茶の水女子大学より徒歩25分ほどです。



▲雑司ヶ谷霊園の大塚楠緒子の墓(墓地番号:1-1-11)

お茶の水女子大学 イベント情報

2006年2月以降にお茶の水女子大学で開催される各種イベントのお知らせです。詳細は各主催者にお問合せください。

◆講演「人道支援における心のケアーカウンセリングと国際支援ー」

本学では、過去3年間のアフガニスタンにおける女性支援の実績を踏まえ、「開発途上国における女性の心のケアの支援」プロジェクトを立ち上げました。その一環として人道視点における心理的ケアの重要性、カウンセリングと国際支援のコラボレーションを考える国際シンポジウムを開催いたします。【主催】お茶の水女子大学 開発途上国女子教育協力センター 【会場】お茶の水女子大学 理学部3号館701教室 【参加費】無料 【お問合せ】Tel&Fax 03-5978-5546 E-mail: mao@cc.ocha.ac.jp (高橋真央)

期 日	講演の概要
2006年2月11日(祝・土) 13:30~17:00	【基調講演】酒井啓子(東京外国語大学教授) 【海外招聘者講演】ヘニア・ダカック(UNFPA(国連人口基金)職員/技術専門官) 【シンポジウム】(コーディネーター)河野貴代美(お茶の水女子大学開発途上国女子教育協力センター客員教授) (パネリスト)アン・ブロッツスキ(メリーランド大学ボルティモア校助教授) 柴田裕子(ピースウィンズ・ジャパン)

◆幼児教育未来研究会

【主催】お茶の水女子大学 子ども発達教育研究センター・同附属幼稚園・東京学芸大学総合教育科学系教育学講座幼児教育分野・同教員養成カリキュラム開発研究センター・同附属幼稚園【後援】文京区教育委員会【詳細・申込み】子どもセンターのホームページへhttp://www.kodomo.ocha.ac.jp

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2006年2月18日(土) 10:00~12:00	幼児教育未来研究会2月例会 テーマ:協同的遊び 事例提供:東京学芸大学附属幼稚園 助言:秋田喜代美(東京大学)	資料代 500円	【会場】お茶の水女子大学附属幼稚園

◆子どもと学びワークショップ

【主催】お茶の水女子大学 子ども発達教育研究センター 【共催】北区教育委員会【詳細・申込み】子どもセンターのホームページへhttp://www.kodomo.ocha.ac.jp

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2006年2月25日(土) 14:00~17:00	子どもと学びワークショップ2月例会 主題:小学校から中学校への移行問題を考える:その実態と対応 講師:酒井 朗(お茶の水女子大学)	資料代 500円	【会場】北園まなび館

◆LWWC

【主催】お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター http://www.ocha.ac.jp/koukai/saikyouiku/index.html 【会場】お茶の水女子大学 【お問合せ】Tel 03-5978-5096, 5494 Fax 03-5978-5019 E-mail: koukai-q@cc.ocha.ac.jp

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2006年4月~8月上旬	LWWC「化学・生物総合管理の再教育講座」前期 本再教育講座では、現代社会をよりよく理解する教養を涵養することを目指し、化学物質や生物によるリスクの評価・管理、そして技術革新およびその社会・生活とのかかわりなどについて、研鑽をつむ機会を提供しています。既に3期開講され、1600名余の方が受講され好評を博しています。	無料	【スケジュール】 平日 18:30~20:00 もしくは 土曜10:00~11:30、11:50~13:20 もしくは 土曜14:00~15:30、15:50~17:20 開催曜日は科目によって異なり、週1回(90分)の講義。 全29科目から選択可能、1科目は15回の講義から構成。

◆お茶の水女子大学21世紀COEプログラム 公開講座

「誕生から死までの人間発達科学ー移行の危機を乗り越えるー」

これまで人間発達とは、子ども期、青年期、成人期などのライフステージを人間が段階的に移行し成長するという、いわば連鎖的なライフサイクルから考えられてきました。しかし、現代の日本社会が抱える問題(乳幼児虐待、学力低下、少年犯罪、フリーター問題、中高年離婚、介護問題など)とは、私たちがライフステージのスムーズな移行につまずいてしまったことの現れなのではないでしょうか。本講座は、人間の発達における移行の危機を乗り越え、人・家族・地域・学校・社会のつながりが再生されることを目指しています。【会場】お茶の水女子大学 共通講義棟2号館2階(3月18日のみ理学部3号館7階) 【お問合せ】お茶の水女子大学21世紀COEプログラム「誕生から死までの人間発達科学」事務局 FAX: 03-5978-5340 E-mail: lec-coe@cc.ocha.ac.jp 【資料代】1回につき1000円(全4回参加の場合4000円) 【詳細・申込み】FAXまたはE-mailにて、①氏名 ②年齢 ③連絡先 ④職業 ⑤参加希望の回 をお知らせください。

期 日	講座の概要
①② 2006年3月 4日(土) 13:00~ ③④ 2006年3月18日(土) 13:00~	第1回「ひと」と「人」 ①子どもは変わる・大人も変わるー人間発達の無限の可能性ー 講師:内田伸子(お茶の水女子大学副学長・COE拠点リーダー) ②心の起源を求めて 講師:長谷川寿一(東京大学) ③ストレスのサイエンス 講師:室伏きみ子(お茶の水女子大学) ④人間の見る世界、動物の見る世界 講師:鈴木光太郎(新潟大学)
①② 2006年4月15日(土) 13:00~ ③④ 2006年4月22日(土) 13:00~	第2回「家族」と「コミュニティ」 ①育ち合って育てる、子育て支援に参加しよう 講師:青木紀久代(お茶の水女子大学) ②なぜ中学生は非行に走るか 講師:無藤隆(白梅学園短期大学) ③中高年女性のライフコースと世代間関係 講師:藤崎宏子(お茶の水女子大学) ④高齢期の自立と介護サービス 講師:平岡公一(お茶の水女子大学)
①② 2006年5月13日(土) 13:00~ ③④ 2006年5月27日(土) 13:00~	第3回「学校」と「社会」 ①3歳児神話と早期教育 講師:榎原洋一(お茶の水女子大学) ②マルチメディア時代の子どもたち 講師:坂元章(お茶の水女子大学) ③フリーターとニート 講師:小杉礼子(独立行政法人 労働政策研究・研修機構) ④だれが学力を獲得するのか 学力階層化社会の進展 講師:耳塚寛明(お茶の水女子大学)
①② 2006年6月10日(土) 13:00~ ③④ 2006年7月	第4回「生」と「死」 ①子どもの発達に影響する遺伝と環境 講師:菅原ますみ(お茶の水女子大学) ②出産と遺伝カウンセリング(予定) ③子どもの命と安全教育(予定) ④発達する死者たち(予定) ※詳細は次号に掲載予定

桜蔭会 兵庫県支部 講演会のお知らせ

桜蔭会兵庫県支部とお茶の水学術事業会共催で、人気絶好調の菅聡子先生による講演会を行います。ふるってご参加ください。

日 時	2006年5月13日(土) 10:30~12:00
場 所	兵庫県立生活創造センター クリスタルタワー(JR神戸駅下車徒歩3分) 内の集会室(予定)
参加費	300円
講 師	菅 聡子先生(お茶の水女子大学)
詳細・申込み	森嶋 郁子 Tel&Fax 078-781-0846

〈講演の概要〉

五千円札の肖像に選ばれて以来、樋口一葉の名前は一躍有名になりましたが、どうもイメージが先行しており、樋口一葉とはどのような女性作家だったのか、どのような作品世界を描いたのか、ということについてはあまり知られていないようです。そこで、明治という時代に「女性作家」としてあるとはどういうことだったのか、そして一葉の小説が描き出した明治の女性たちの真実とはどのようなものだったのか、一葉の生涯をたどりながらお話ししたいと思います。

〈講師のプロフィール〉

1962年8月、福岡県生まれ。お茶の水女子大学大学院博士課程修了。博士(人文科学)。現在、お茶の水女子大学大学院助教授。専攻は、近代日本文学。とくに、明治から現在にいたるまで、女性表現に関心をもって研究をすすめています。ミステリマニアで、こっそり解説を書いたりしています。



菅 聡子先生

「お茶大ゴーフル」好評発売中

「お茶大ゴーフル」はご賞味いただけましたでしょうか? お土産に、記念に、会合にぜひお買い求め下さい。お茶の水女子大学生協で店頭販売しています。発送も承りますので、お茶の水学術事業会事務局までお申込みください。



ばにら・ちよこいちご 各4枚入 600円(税込)

通信販売いたします ※送料はお客様負担となります。

ご注文はメール・電話・FAXでどうぞ!
E-mail: info@npo-ochanomizu.org TEL&FAX: 03-5976-1478

講師幹旋について

講演会やセミナーの講師の幹旋をしております。ご要望に合わせて最適な講師をご推薦します。自治体主催の市民講座や講演会など、講師のご要望がありましたら、お気軽にお問合せください。

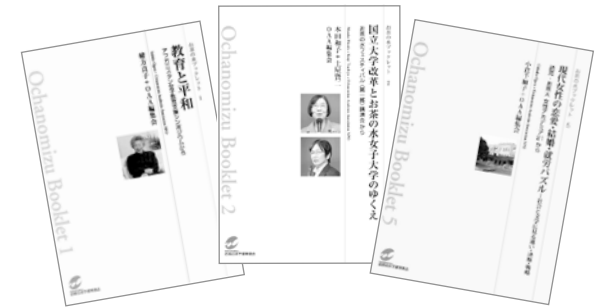


◆地方講演会共催のパートナーを募集しています◆

東京都以外の地域においても講演会を開催していきたいと考えております。共催していただける団体等がございましたら、事業会までご連絡くださるようお願いいたします。

お茶の水ブックレット

お茶の水学術事業会では、お茶大の学内で催されるさまざまな講演やシンポジウムなどの内容を学外のみなさまにお届けするために、お茶の水ブックレットを出版しています。大学が発信する新鮮で貴重な情報を、お仕事や日常にどうぞお役立てください。



第1号「教育と平和ーアフガニスタン女子教育支援シンポジウムから」
緒方貞子氏へのお茶の水女子大学名誉博士称号授与式での記念講演・五女子大学学長によるアフガニスタン女子教育支援パネルディスカッション。

第2号「国立大学改革とお茶の水女子大学のゆくえ」
本田和子前学長の講演(表題)、土屋賢二教授の講演「お茶の水女子大学はどんな人間を生み出してきたか...被害者の立場から」を収録。

第3号「ライフワールド・ウオッチセンター」(在庫なし)
センター設立記念シンポジウムでの記念講演を収録。名古屋市長名誉教授 伊東信行氏、文科省 井上正幸氏、日本学術会議会長 黒川清氏 他

第4号「生命科学フォーラム」
お茶大理学部研究者による生命科学最先端の講演集。
「ストレス応答の生物学」「ゲノム解析...遺伝子診断と治療の扉」「糖鎖を操作して健康を守る」「インビボ核磁気共鳴...診断と治療への寄与」他

第5号「現代女性の恋愛・結婚・就労パズル」
「読売・お茶大 女性アカデミア21」での講演とシンポジウムを収録。
心理学者で評論家の小倉千加子氏の講演(表題)とパネルディスカッション。

第6号「『女性と科学』を科学する」(近日刊行)
「読売・お茶大 女性アカデミア21」より、宇宙飛行士 毛利衛氏と評論家 樋口恵子氏との対談、(株)リコー常務執行役員 國井秀子氏、サイエンスライター 青山聖子氏、お茶大理学部教授らによるパネルディスカッションを収録。

1冊500円(税込・送料別)でお求めいただけます。
メール・電話・FAXでご注文ください。最新刊については随時ホームページでお知らせしております。

TEL&FAX 03-5976-1478 info@npo-ochanomizu.org
http://www.npo-ochanomizu.org/booklet/